

テルコム ペット用酸素ハウス® 操作マニュアル



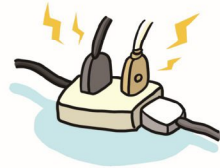
🐾 設置場所の注意事項

安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず本マニュアルをお読みください。
また、必要なときにすぐ読めるよう大切に保管してください。

2m以内 火気厳禁



タコ足配線 禁止

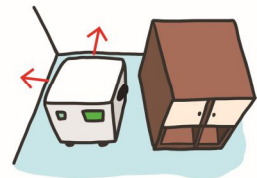


ニオイ厳禁



芳香剤 タバコ 線香

器械の周囲
10cm 以内に
物を置かない

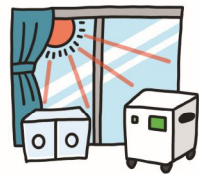


狭い場所での
使用禁止



押し入れなど

直射日光禁止



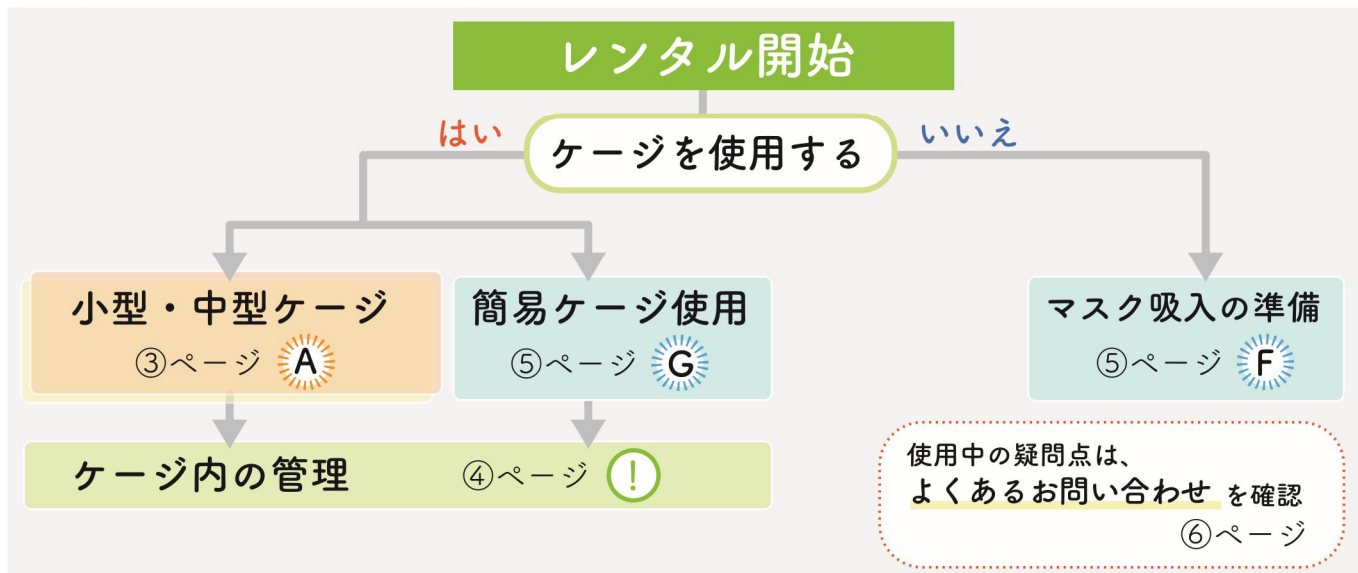
屋外使用 厳禁



器械は水のかかる
場所で使用しない



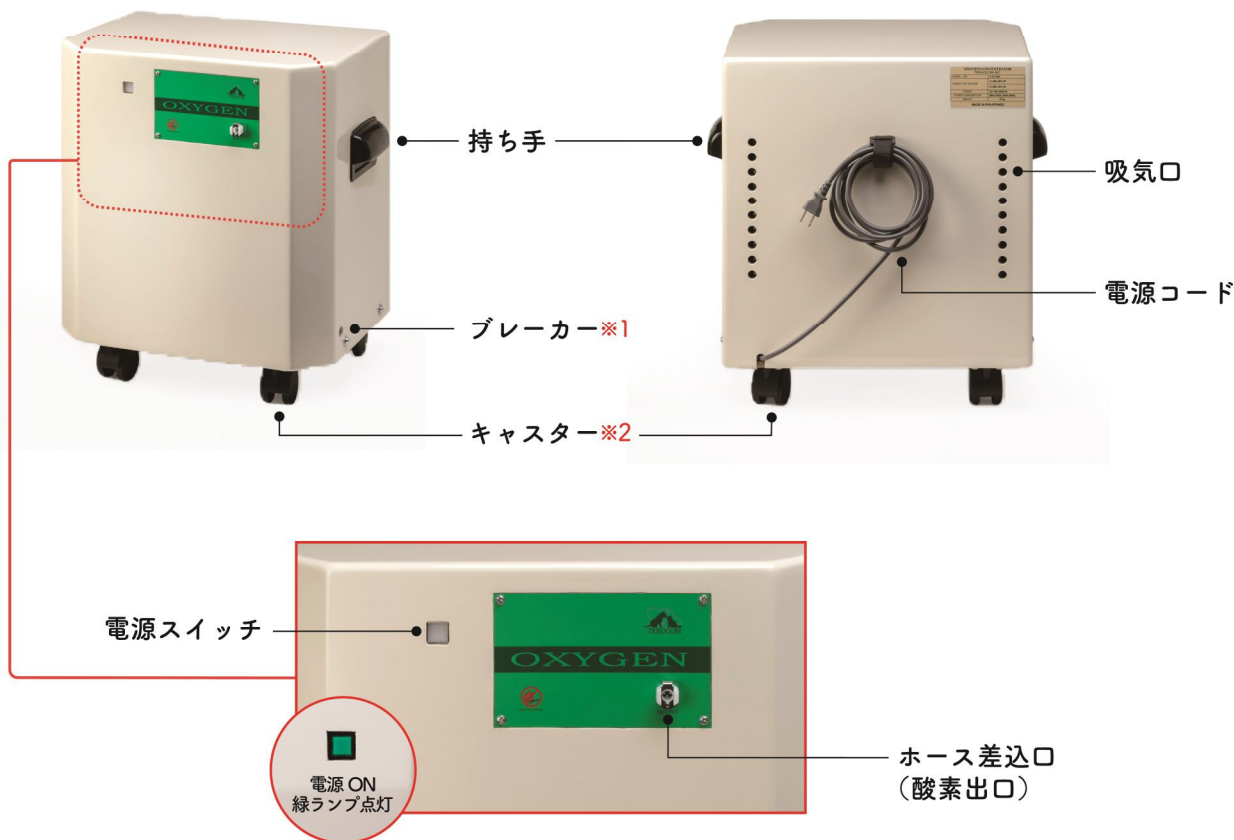
🐾 ご使用の流れ



🐾 各部名称

※色、デザイン、素材が写真と異なる場合があります。

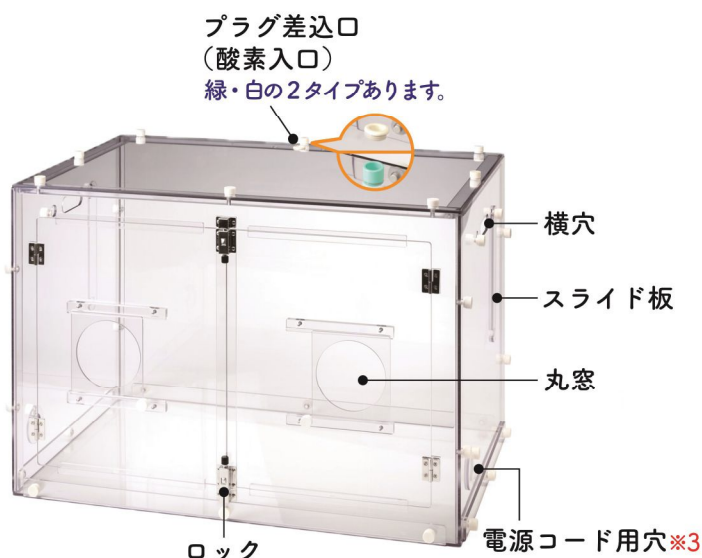
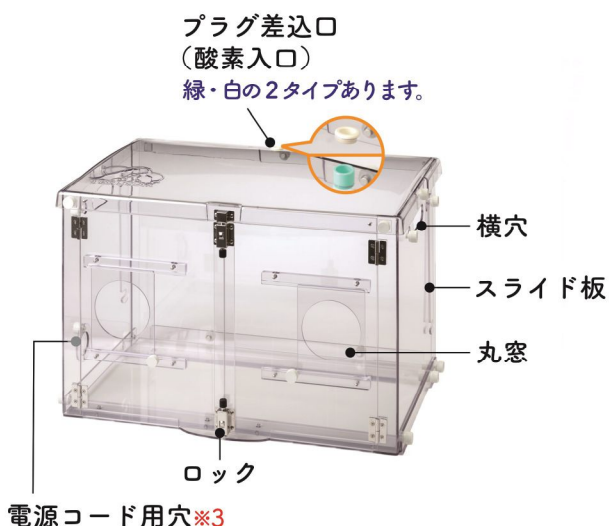
【酸素濃縮器】



- ※ 器械の下から排気、排熱をします。
- ※ 電源スイッチを切っても装置が完全に停止するまで約1~10秒かかる場合があります。
- ※1 器械の背面底部にある場合もあります。
- ※2 前輪2ヶ所にロックが付いています。

【小型ケージ】

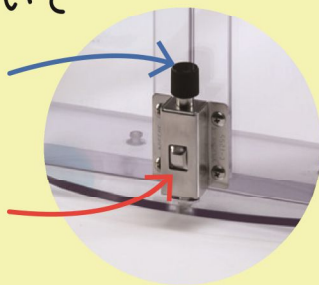
【中型ケージ】



ケージのロックについて

黒い部分を押し込むと
ロックが掛かります。

金具のボタンを押すと
ロックが外れます。



- ※ 防水加工ではありません。床を濡らさないよう、ケージの中、または下にペットシートなどを敷くことをお勧めします。
- ※ ケージは70℃以上で変形します。
- ※ ケージにテープを貼る時は、養生テープなど跡が残らない物を使用してください。
- ※3 ホットマットなど電源を使用する場合、コードを出すことができます。

「テルコムの酸素濃縮器」とは

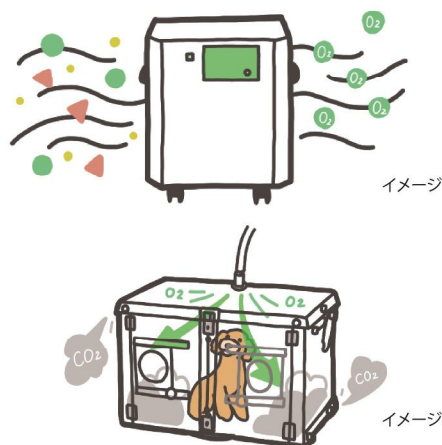
空気から酸素以外の成分を取り除くことで、
高濃度酸素を生成しています。

ポンベと違い、
酸素が無くなることはありません。

流量が多い※ので、

ケージの中に酸素を供給しながら
ペットが吐き出した二酸化炭素を押し出し、
換気できるようにつくられています。

※ 白ホース… 8~10L/min



これはテルコム独自の技術で
特許を取得しています。

使い方

小型ケージプラン

中型ケージプラン

※マスク吸入→⑤ページ

準備するもの

流量 8-10L/min 酸素濃度 45-50%

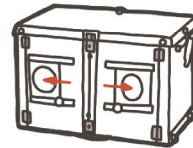


A ケージの準備

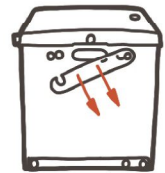
1. ケージを組み立てる
2. 丸窓、横穴の確認 (丸窓…閉、横穴…開)

本マニュアルではこの状態を「通常使用」と呼びます。
詳しくは④ページの①『濃度調整について』をご確認ください。

閉める



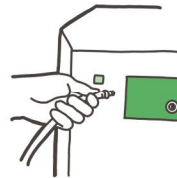
開ける



イメージ

B ホースの差しかた

1. 器械にコネクターを差し込む
2. ケージにプラグを差し込む



イメージ

※ケージに緑ホースを繋がないでください。流量が少ないため、ケージ内を十分に換気することができません。
②ページの「テルコムの酸素濃縮器」とは 参照

C 運転

1. 電源プラグをコンセントに挿す
2. 電源スイッチを押す
ペットをケージに入れる

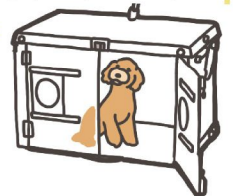


イメージ

D 停止

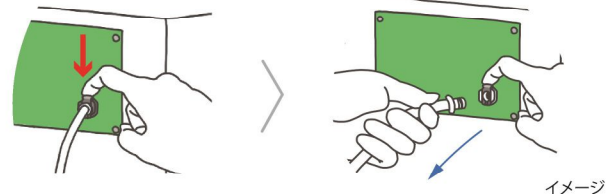
電源スイッチを押す

酸素濃度の急激な変化は容態により負担が大きくなる場合があります。
丸窓や扉を少しずつ開けて、お部屋の空気と馴染ませながら出してあげてください。



E ホースの抜きかた

1. 銀色の金具を下方向に押す
2. 金具を押しながらホースを抜く



イメージ

! 濃度調整について 酸素濃度はケージ開口部の大きさを調整します。

通常使用時のケージ内酸素濃度・30~38%

- ① 濃度を上げる・横穴を閉める 40%前後
- ② 濃度を下げる・丸窓を開ける

※ケージに風を当てないでください。エアコン・扇風機・窓からの風が当たると酸素濃度が下がります。

※酸素が溜まるまで：小型ケージ約10分 中型ケージ約20分

※容態により適正な酸素濃度は異なる場合があります。

! 温度・湿度の管理について

温度、湿度の調整機能はありません。各ご家庭で調節をしてください。

温度

ケージ内の温度を下げるには

1. 冷房をつける
2. さらに凍らせたペットボトルをケージの上や中に置く



中に置く場合はタオルを巻く

ケージ内の温度を上げるには

1. 暖房をつける
2. さらにホットマットや湯たんぽを入れる



※ケージは70℃以上で変形します。

湿度

湿度を下げるには

室内の湿度を下げる

※呼気に含まれる湿気で湿度が高い場合もあります。

状況に応じてマスク吸入へ切り替える方法もあります。(⑤ページ)



湿度を上げるには

濡れタオル等を横穴に掛けたり、中に入れる



ケージ内の温度、湿度が上がる理由

ケージ内の温度と湿度はペットの息づかい、体重、体温によって変化します。上記方法で調節を行っても息づかいや体温によっては温度、湿度管理に限界があります。その場合、⑤ページの「マスク吸入」へ移行するなど、様子を見ながら快適に過ごせるよう配慮することが大切です。

使い方

ケージなしプラン

・マスク吸入 ・簡易ケージ

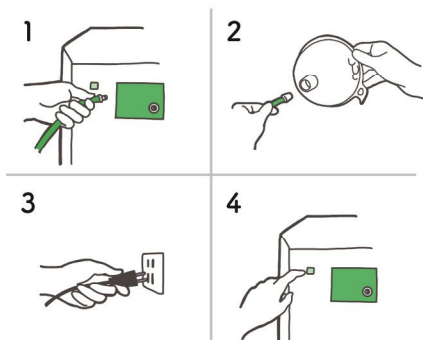
簡易ケージとは

テルコム以外の酸素吸入をする方法です。

詳細はGをご参照ください。

F ケージを使わずマスク吸入

1. 器械にコネクターを差し込む
2. プラグの先をマスクに差し込む
3. 電源プラグをコンセントに挿す
4. 電源スイッチを押す
5. マスクを鼻口先に近づける



※ 酸素出口へコネクターを差し込めない時は銀色の金具を下方向に押ししてから、再度コネクターを差し込んでください。

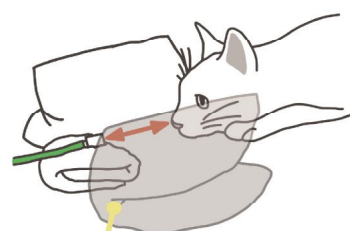
準備するもの

流量 1-2L/min 酸素濃度 80-90%

マスク (大・小)



【マスクを嫌がった場合】
ホースの先から吸入する。



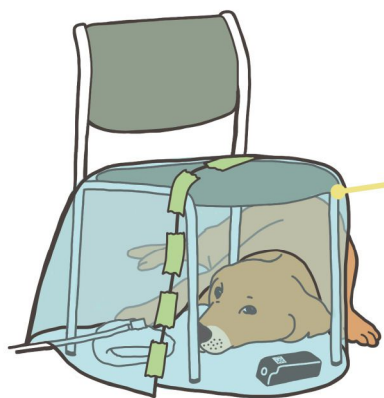
クッションや凍らせたペットボトル等で風よけをつくると、鼻口先に酸素が届きやすくなります。

G 簡易ケージ

1. イス、テーブル、お手持ちのケージを準備する
2. ポリ袋、養生テープ等を使い目張りをする
3. 目張りをした簡易ケージの中にホースを引き込む
4. 酸素濃度計で簡易ケージの中の酸素濃度を確認する

準備するもの

流量 8-10L/min 酸素濃度 45-50%

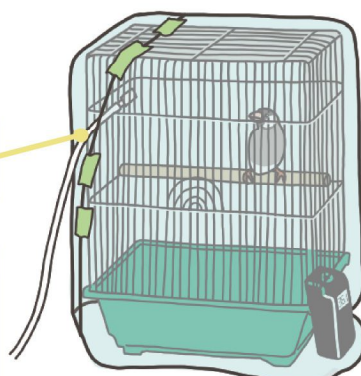


例1 イスの下

イメージ

大きなポリ袋などご自宅にあるものを活用してください。

酸素濃度の急激な変化は容態により負担が大きくなる場合があります。お部屋の空気が馴染ませながら出してあげてください。



例2 ケージ (鳥かご)

イメージ

※酸素濃度は覆っているポリ袋の密閉具合や目張りをしたケージの大きさによって変わります。
※この方法は白ホースをご使用ください。緑ホースは使用しないでください。

⚠️ ホースにテープを貼る時は、養生テープなど跡が残らない物を使用してください。

よくあるお問合わせ

酸素濃度が上がらない

ケージに風が当たっている可能性があります。エアコンの風向や設置場所を変えたり、ケージにバスタオルなどをかけて風が入らないようにしてください。

電気代はいくらかかるのか

24時間連続運転した場合、1日当たり約150円です。(1kW/h ≒ 23円)

ケージの大きさを変更したい

レンタル中もケージサイズの変更(プラン変更)ができます。

変更手数料と配送費をお支払いいただきます。レンタル中の取扱店へご確認ください。

器械の中から音が聞こえる

数秒間隔で中のタンクが切り替わる際に「トンットンッ」「プシュー」と音がしますが、使用上問題はありません。稼働音が気になる場合は器械とケージを離してご使用いただけます。

ケージの掃除はしても良いのか

洗浄できます。ビスを外して分解し1面ずつ洗うこともできます。

ケージは強くこすると傷がつきます。柔らかいスポンジなどで優しく洗浄してください。

(その間はマスク吸入に切り替えてください：⑤ページ参照) また、ケージの中で快適に過ごせるよう汚れはそのままにせず、普段からこまめに拭いていただくことをお勧めします。

出入り自由な方法で使用できないか

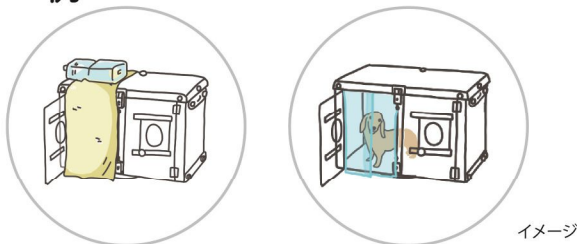
ケージの扉を片方開けた状態にして横穴を塞ぎ、冷蔵庫の保冷カーテンやタオルを床まで垂らし、出入り自由にできる方法もあります。

この方法は通常より酸素濃度が低くなる

可能性があるため、行う前に一度

獣医師に相談されることをおすすめします。

例



ケージにテープを貼る時は、養生テープなど跡が残らない物を使用してください。

停電時はどうしたらよいのか

酸素濃縮器は電気を使用するため、停電時は使用できません。

万が一に備えて酸素缶(スポーツ、登山用)を常備しておくことと安心です。

長時間の酸素吸入が必要な場合は事前に獣医師と相談しておくことをおすすめします。

安全上のご注意

下記をよく読んで、正しくお使いください。



注意すること



してはいけないこと



必ず行うこと

【器械】

- ⚠ 低温下で保管していた場合は、常温でしばらく置いてから使用する
- ⚠ 家庭用電源での使用に限る（100V 50Hz/60Hz）
- ⊘ 分解・改造・修理はしない 感電、故障の原因になります。
- ⊘ 高温、多湿な環境下で使用しない
（稼働温度範囲：0℃～40℃ 稼働湿度範囲：0～70% 結露がない場合）
- ⊘ 電源コードの上に重いものを載せない、本体の下敷きにしない
コードが破損し、火災、感電の原因になります。
- ⊘ 電源プラグを抜くときは、コードを持って抜き差ししない
感電・ショート・発火の原因になります。
- ⊘ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。
- ⊘ 落下などの強い衝撃を与えない、横にしたり逆さにしない
火災やケガ、故障の原因になります。
- ❗ 電源プラグは、根元まで確実に挿し込む
接触不良により火災や感電、故障の原因になります。
- ❗ 使用時は前輪2ヶ所のキャスターをロックする
- ❗ 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
火災の原因になります。
- ❗ 塵やホコリは定期的に除去する
吸気口にホコリが溜まると目詰まりによる能力低下の原因になります。
吸気口を掃除機などで吸引することで簡単にホコリを除去できます。
またコンセント差込口周辺や電源プラグの隙間のホコリも除去してください。

【ケージ】

- ⊘ 落下などの衝撃を与えない、落とさない、投げない
破損の原因になります。

【酸素ハウス全般】

- ⊘ ホースを踏んだり、折り曲げない
- ❗ 傾斜、振動のない安定した場所で使用する
- ❗ 電源コード、ホースを噛ませないようにする